

地域課題共有のためのケア会議（軽井沢町）

- 町内を構成する様々な組織のメンバーで、高齢者を取り巻く
 - ①交流・外出支援 ②安否確認 ③移動 ④買い物 の4つの課題について、
1、実施されていることと 2、理想とする姿について、膝を交えて話し合い共有した。
- 平成25年度 課題解決の具体化に向けて、地域包括ケア会議を継続する。

参集組織： 自治会役員、社会福祉協議会、介護保険事業者
病院、施設、民生委員、警察署、消防署、
交通機関事業所（バス、タクシー）、郵便局
役場、地域包括支援センター
新聞店、コンビニ店、ガス会社、等 参加者 30人



①交流・外出支援

実際にやっていること、やったこと

コンビニに、お茶飲みコーナーを解放
雪かき、公民館活動、サロン 等

あったらいいこと

道路脇への椅子設置、空き店舗、警察、消防署の詰め所の場所提供と活用、出張発表会、自治会婦人部老人訪問 等

②安 否 確 認

消防団の夜回り、郵便配達時の声かけ、情報キットカプセル配布 等

認知症の対応を広く周知、啓発（住民、企業、スーパーマーケット等）、回覧板、電気、水道との検針時、新聞店の声かけ 等

③移 動

冬期間雪かき、タクシー券発行、町内循環バス、移動販売 等

玄関から道までの雪かき、デマンドタクシー、スーパーへの直行便、バス停の増設、道路状況マップ作成 等

④買 い 物

宅配利用、小分け商品の品数増加等

商店に買い物アドバイザー、補助者の設置、スタッフの認知症への理解、買い物ツアーの開設 等